

法曹親和会 平成30年度 夏期合宿研修会のお知らせ

会員 各位

法曹親和会会員の先生方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る8月18日(土)・19日(日)、法曹親和会恒例の夏期行事、「夏期合宿研修会」を箱根「湯本富士屋ホテル」にて開催いたします。

本年度の研究テーマは、「正社員と非正規社員の格差と最高裁判決」(東京法曹会)、「これで今日からあなたも商標のエキスパートに！」(親和全期会)、「東京弁護士会の台所事情と将来の課題」(法曹親和会)、「権利濫用に関する裁判例の検討」(二一会)、「職場におけるハラスメント対応～セクハラ・パワハラ・マタハラ・パタハラ～」(法曹大同会)です。

日ごろの業務に役立つ知識を習得するだけでなく、社会・市民が弁護士会に期待する役割が拡がり、会員数が増加し続ける中で、会員が負担する会費を主な財源とする東弁財政はどうあるべきかなど、会財政のあり方を改めて考えてみる貴重な機会になると思います。18日の研修終了後には、例年どおり大懇親会・二次会も企画されておりますので、大いに語らって懇親を深めていただきたく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

法曹親和会研修委員会

委員長 川畑 大輔

法曹親和会

幹事長 関本 隆史 事務総長 山中 尚邦

親和全期会

代表幹事 楠本 維大 事務局長 沼 宏一郎

なお、お申込みは、まだ間に合います。本書面をプリントアウトして頂き、

下記の回答書によりFAXで、御連絡ください。

※お申込み及びお問い合わせ先

常任幹事 山本昌平(電話03-5220-8676 FAX03-5220-8678)

平成30年度法曹親和会夏期合宿申込書(FAX03-5220-8678)

1. 参加日

- 18日、19日とも参加する(宿泊する) 18日のみ参加する(懇親会后帰る)
 19日のみ参加する その他()

2. 記念写真の要否(アンケート)

- 必要 不要

ご芳名 _____ (二一 大同 東法 期)

* 同伴する司法修習生がいる場合その方のご芳名 ()

開催要項

- (1) 日時 平成30年8月18日(土)～8月19日(日)
8月18日 午後0時15分より新館「箱根」前にて受付開始
* 研修中はお部屋の利用ができません。会場後方に荷物置き場を用意いたします。
- (2) 場所 箱根『湯本富士屋ホテル』
神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256-1
TEL 0460-85-6111 (代)
* 小田急線 箱根湯本駅より徒歩3分。
- (3) 会費
- | | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 23期以前 | 金 18,000 円 | 24期～55期 | 金 34,000 円 |
| 56期～60期 | 金 28,000 円 | 61期～65期 | 金 18,000 円 |
| 66期～69期 | 金 8,000 円 | | |
| 新入会員 | 無料 | 司法修習生 | 金 8,000 円 |
- * 2日目(19日)のみ参加の場合 金 3,000 円
* 18日に宿泊されずにお帰りになる会員についても、宿泊の場合と同額とさせていただきますので、ご了承下さい。
* 各部屋の電話の利用その他個人的な飲食費等は、各自でご精算下さい。
- (4) 申込方法 FAX申込書にてお申し込み下さい。
- (5) 支払方法 事前の銀行振込によるお支払いをお願いいたします。
※振込人名には「弁護士」をつけないで下さい。
〈振込先〉 **みずほ銀行 赤坂支店 普通預金 2182359**
法曹親和会 夏期合宿(ハウソウシンワカイ カキガッシュク)
- (6) キャンセル 急用にてキャンセルされる場合は必ず常任幹事高橋梨紗(前日以降はホテルに直接)まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。
(8月16日まで 電話03-5220-8676・FAX03-5220-8678)
(8月17日以降 電話0460-85-6111)
* キャンセルされる場合、以下の取扱いとさせていただきます。
①8月13日まで 会費全額(送金手数料控除)を払い戻します。
②8月14日から17日まで 会費の半額(送金手数料控除)を払い戻します。
③その後は、会費全額をキャンセル料とさせていただきます、払い戻しができません。
* なお、当日までに会費をお支払いただいていない場合には、後日、キャンセル料相当額を申し受けさせていただきますので、ご了承下さい。

平成30年度 夏期合宿研修会 研究テーマ

東京法曹会 「正社員と非正規社員の格差と最高裁判決」 8/18 13:10~14:30

(コーディネーター：二宮麻里子、発表者：吉岡 剛、川野 仁ほか)

平成30年6月1日、最高裁判所は、正社員と非正規社員の「格差」に関して2つの事例の判決を出した。1つは、正社員と契約社員の格差、もう1つは、正社員と定年後再雇用された嘱託社員の格差である。労働契約法20条は、有期雇用者の労働条件が、正社員の労働条件と相違する場合に、当該労働条件の相違は不合理と認められるものであってはならない、としているが、では、どのような処遇格差が不合理となるのか、事例をもとに、判断方法、考えるべき事情、不合理か否かの具体的な判断について検討し、報告を行いたい。

親和全期会 「これで今日からあなたも商標のエキスパートに！」 8/18 14:40~16:00

(発表者：神村大輔、関口慶太、紙尾浩道ほか若干名)

商標は、特許などと比較すると中小企業や個人による出願が多く、出願全体の約6割は中小企業や個人によるものです(平成28年)。中小企業からの相談を受ける弁護士にとって商標権の理解と知識のアップデートは必須といえます。親和全期会中小企業知財研究会のメンバーが中心となって、商標に関する諸問題を、事例形式でわかりやすく解説します。

法曹親和会 「東京弁護士会の台所事情と将来の課題」 8/18 16:10~17:30

(発表者：圓山司、栗林勉、吉村誠、露木琢磨、石原俊也、その他執行部の担当者)

法曹親和会の先生方は東弁の現在の台所事情をどのように思われているのでしょうか。平成29年度決算の監査報告、監事意見を読まれましたか。平成24年度の夏期合宿で「会費値下げは可能か」のテーマで東弁の財政問題を取り上げました。その後6年が経過して東弁の財政状況はどのような変化を遂げているのでしょうか。新たにどのような問題状況が発生したのでしょうか。今でも会費の値下げは可能なのでしょうか。現在の東弁の財政状況を正確かつ適切に認識のうえ、今一度将来の課題とその解決方法等を、一緒に考えてみたいと思います。

二一会 「権利濫用に関する裁判例の検討」 8/19 9:30~10:50

(発表者：二一会研究部 安田伸一ほか数名)

本年度の二一会研究部は、権利濫用をテーマに、様々な紛争類型での裁判例を検討しました。権利濫用理論は、明治期における学説の展開を経て、大審院判例、その後の明文化という流れをたどり、さらに昭和中期、後期、平成にかけて、様々な裁判例が出されました。一般民事、家事、知的財産権に関する紛争類型にて、どのように判断されたかを考察し、検討することで、皆様の権利濫用理論に関する理解を深める一助になれば幸いです。

法曹大同会 「職場におけるハラスメント対応 ～セクハラ・パワハラ・マタハラ・パタハラ～」

(発表者：古田幸大、板倉武志、樋口智紀、上田晃司)

8/19 11:00~12:20

海外では、ハリウッドでのMe Too運動や、ノーベル文学賞の選考見送り、我が国では、財務事務次官の辞任や、オリンピック選手への指導問題など、職場でのハラスメント問題が大きくクローズアップされています。会社からの相談、加害者からの相談、被害者からの相談と立場はそれぞれですが、皆さん、適切に対応できているのでしょうか？ハラスメント問題のイロハから、具体的な対応方法までをご紹介します。奮ってご参加下さい。

日 程 表

8月18日（土）	8月19日（日）
12:15～受付（新館「箱根」）	(7:30～9:00)
13:00～開会式（新館「箱根」）	朝食（バイキング）（新館「箱根」）
13:10～14:30	9:30～10:50
東京法曹会研究発表	二一会研究発表
「正社員と非正規社員の格差と最高裁判決」	「権利濫用に関する裁判例の検討」
14:30～ 休憩	10:50～ 休憩
14:40～16:00	11:00～12:20
親和全期会研究発表	法曹大同会研究発表
「これで今日からあなたも商標のエキスパートに！」	「職場におけるハラスメント対応 ～セクハラ・パワハラ・マタハラ・パタハラ～」
16:00～ 休憩	12:20～ 閉会式
16:10～17:30	
法曹親和会研究発表	
「東京弁護士会の台所事情と将来の課題」	
17:30～ 自由行動	
18:50～	
写真撮影（本館2階「赤富士」西）	
19:00～	
大懇親会（本館2階「赤富士」西）	
21:00～	
二次会（本館2階「赤富士」東）	

【スタッフ】

法曹親和会研修委員会

委員長	川畑 大輔				
委員	川瀬 渡	井上 裕貴	余頃 桂介	丸山 冬子	
	江坂 春彦	吉岡 剛	田村 裕樹	青野 晋也	
	友成 亮太	栢割 秀和	大棒 洋佑	池田 里江	
	細川早智子	佐々木 萌	山下 智行	金川 征司	
	三浦 太郎				

法曹親和会執行部

幹事長	関本 隆史				
副幹事長	鍛冶 良明	内藤 貴昭	山岸 宏彰		
	木村 英明	畑 克海	若松 巖		
	遠藤常二郎	鈴木 清明	石黒 清子		
事務総長	山中 尚邦				
事務次長	古屋 丈順	新 有道	木原 大輔		
常任幹事	鳥山 亜弓	高橋 梨紗	上田 貴之	中野 雄太	
	山本 昌平	三井 拓	佐伯 織江	渡邊 智己	
	丸山 冬子	重森 政利	宮田 直紀	藤原 寿人	
親和全期会代表幹事	楠本 維大				